

登録コード	BS203500	開講年度	2026				
授業題目	生物学基礎					担当教員	羽二生 久夫
英文授業名	Basic biology					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生	
講義室	工C3-201教室 繊維2 3 番講義室 農学部1 1 番講義室		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術が持てるようになる
(2)授業の概要	高校で生物基礎以降の生物学を学んでない人を対象とした基礎生物学です。生物学とはどんな学問なのか、その歴史を含めて学び、現在も増加し続ける新たな医学を理解するために必要な基礎知識を基礎医学や臨床医学の視点も交えて学びます。それは多種多様な「生物」が生存できる共通する性質を学ぶ事でもあります。物質科学である工学と融合した生命医工学専攻を学ぶ学生としての生物の基本的知識を付けましょう。						
(3)授業計画	※本授業はZoom、またはGoogle Meetを使って遠隔で行います。毎回の受講前にeALPSを必ず確認して下さい。 1 回目（4月14日）：ガイダンス（講義の目的と内容、評価方法、資料等）と概論－科学・生物学の方法について 2 回目（4月21日）：生物学の歴史と成り立ち 3 回目（4月28日）：細胞とは 4 回目（5月12日）：細胞内小器官 5 回目（5月19日）：細胞の形質 6 回目（5月26日）：細胞とエネルギー 7 回目（6月2日）：タンパク質の機能 8 回目（6月9日）：細胞のコミュニケーション 9 回目（6月16日）：細胞の増殖 1 0 回目（6月23日）：生殖 1 1 回目（6月30日）：発生と分化 1 2 回目（7月7日）：生体防御機構 1 3 回目（7月14日）：再生と死 1 4 回目（7月21日）：ホメオスタシス 1 5 回目（7月28日）：生物の進化と多様性						
(4)成績評価の方法	講義ごとの小テストで基礎知識の確認を行い、最終レポートとして学んだ基礎生物学の知識と専門の研究テーマを関連させた課題で評価を行う。評価の割合は成績評価の基準を参照。						
(5)成績評価の基準	最終レポートが評価基準であり、時事ネタに対する生物学的視点で独創性が感じられるレポートであれば「秀：100-90点」、物学的生物学的視点での論理的根拠が示されているレポートであれば「秀：89-80点」、生物学の基礎知識を正しく習得し、与えられた課題のレポートにも的確にこたえられていれば「良：79-80点」、生物学の基礎知識を正しく習得していれば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。 小テストの結果はレポートに対するプラスアルファとします。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習として日常的に人を含む生物や医療に関するニュースに興味を持つようにし、講義後に配布された講義資料で理解を深めて下さい。						
(7)履修上の注意	講義後、講義資料を配布します。						
(8)質問,相談への対応	講義に関する質問、相談は下記のメールアドレスに送って下さい。 hhaniu@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他							
【教科書】	指定なし。						
【参考書】	配布資料を参考書代わりにして下さい。						